



7月12日(火)

## 塩をとってください

聖書朗読 マタイ 5:13~15

主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざを、すべての国々の民の中で。  
詩篇 96:3

塩で味付けすること、電気をつけることなどは日常の何気ない動作です。両方とも何も考えず行います。ささいで、一見重要でないこの行いが大きな変化をもたらします。

塩は、食べ物の上に振りかけた数秒後には消えてしまいます。しかし料理の風味を増すことによって その目的を果たします。明かりは消えることなく暗闇を照らします。マタイは言います。ますの下や寝台の下におくために、明かりを持ってくることあるか。むしろ燭台の上において、家中のすべてのものを照らせるのである。

私たちはこの地の塩となり、この世の光となるよう求められています。舞台の裏で働く塩の効いたクリスチャンは静かで、決して目立ちませんが、人々に大きな影響を与えます。一方、あるクリスチャン、どちらかという光のようなクリスチャンは人前に立って教え、導きます。

あなたが塩であろうと、光であろうと、目的は一つです。ご在天のお父様を褒め称えることです！塩が料理に深い味わいをつけるとき、塩ではなく、その料理が褒められます。光が灯るとき、目に入るのは光に照らされたものであり、光そのものではありません。私たちの目的は、自分自身が目立つことではなく、神を褒め称え、崇めることです。

次に塩で味付けする時、部屋の電気をつける時、あなたの目的を忘れないでください。いつも神を褒め称えましょう。

讃美歌 II 194

祈り 親愛なる主、この世の塩と光になれますように。自分自身への称賛を求めてしまったときはお許しください。私たちの目的が、あなたに賛美と栄光をもたらすことでありますように。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

サリー J. シャンク

7月13日(水)

## ヤギの知恵

聖書朗読 マタイ 5:38~42

求める者には与え、借りようとする者は断らないようにしなさい。

マタイ 5:42

2匹の山羊が1匹しか通れないような細さの岩棚で出くわしました。左側は崖、右側は深い湖です。二匹はお互いに向き合っていました。この2匹の山羊たちはどうすべきでしょうか？2匹とも後戻りすることはできません。危険すぎます。方向を変えることもできません。狭すぎます。

もし賢くない山羊たちだったら、どちらかが湖に落ちるまで頭突きをしあうでしょう。でもこの山羊たちは賢かったのです。一匹が棚に寝そべり、もう一匹にその体の上を渡らせました。これで2匹とも安全にすれ違うことができました。片方が寝そべり、もう一匹を通させる。これは山羊の本能です。そして、これはよくあることではありません！

イエス様はおっしゃいます。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。2マイル行きなさい(マタイ5:39、41)クリスチャンは他人の幸せのために己を犠牲にする強さを持っていると言っておられるのです。他人の幸せのために謙虚になるとき、その姿を見た人は誰もあなたを支配することはできないと知るのです。誰もあなたから何も奪えません。頭を突き合わせるより、あなたの上を歩かせるほうがよいのです。

讃美歌 21 520 真実に清く生きたい

祈り お父様、謙虚になる勇気と強さを私たちにお与えください。私たちのために謙虚になってくださったイエス様というお手本に感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エディ C. ルイス

7月14日(木)

## 神の報い

聖書朗読 マタイ 6:5~15

やめよ。わたしこそ神であることを知れ。

詩篇 46:10

聖書の中のいくつかの箇所、イエス様のプライベートな祈りの生活について触れています。ルカの福音書5章16節がその一つです。「しかし、イエスは、寂しい所に退いて祈っておられた。」マタイの福音書14章23節にもマルコの福音書1章35節にも見ることができます。なぜイエス様は神と二人きりの時間をお求めになられたのでしょうか？なぜイエス様はこのことを最優先にしたのでしょうか？

マタイの福音書6章6節を読むと分かるかもしれません。イエス様は聴衆に神と二人きりで過ごす方法を教えておられます。イエス様は続けて言われました、「隠れた事をみておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。」この言葉から、イエス様は人に見られるようにする偽善者の祈りに対する報いと対比させているのがわかります。しかし、報いとはなんなのでしょう？

この問いに対する答えはいくつかあります。一つはピリピ人への手紙4章6節から7節に見ることができます。「何事も思い煩ってはならない。ただ事ごとに、感謝をもって祈りと願いをささげ、あなたがたの求めるところを神に申上げるがよい。そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と意思とを、キリスト・イエスにあって守るであろう。」

静かな祈りの時、私たちの心は神の平安で包まれます。その平安とは簡単に説明、理解することはできませんが、神と二人きりで過ごしている人たちだけが感じることができるものです。なんとすばらしい報いでしょう！

讚美歌 310

祈り 親愛なる主、あなた様と二人きりで過ごしているときに与えてくださる平安に感謝致します。もっと頻繁にあなた様を探し求め、素晴らしい報いを味わうことができますように。

イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

ジーナ・ゴードン

7月15日(金)

## 平安を求めて

聖書朗読 マタイ 6:25~34

義は平和を作り出し、義はとこしへの平穩と信頼をもたらす。

イザヤ書 32:17

イザヤ書では、平和は、正義の結ぶ実であると言っています。残念なことに大抵の場合、私は平和を先に得ようとしてしまいます。

私はこう自分に言い聞かせています。もっと時間があつて、心配事もなくて、お金もあつて、ストレスも少なかったら、私はもっと神を賛美するために時間を使い、神のみ心を探すために時間を裂くの。すべての仕事を終わらせられれば、聖書を学び、祈りのために時間を使えるのに。経済的にもっと安定していれば、困っている人にもっとお金を渡すことができるのに。

いつか主のために何かをすることができる余裕を感じる日が来るはずと思いながら、私は、とにかく目の前の事を片付けていくのに多くの時間とエネルギーを費やします。でもそうしながらも、私はいつになってもそのゆとりのある時間を持つことができず、また平安を感じる事ができないのだろうとも考えています。

目先のことに思い悩み、それに時間を使いすぎてはいけないとイエス様は私たちに警告されておられます。神様は私たちに何が必要かをご存知です。ですから、自分自身や、自分の欲望や恐怖についてばかり考えるのはやめて、神様に目を向けましょう。

その時初めて、私たちは平和を見つけられるのです。

讚美歌 295

祈り 親愛なる神、日々まずあなた様を求めるのではなく、自分自身を大切にすることばかり考えている私たちをお許しください、主にある平安を見つけられるように、あなた様とあなた様の義だけに目を向けられるようにお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

トミー・デイトモア

7月16日(土)

## 神は見てください

聖書朗読 マタイ 10:26~31

主は天から目を注ぎ、人の子らを残らずご覧になる。御住まいの所から地の住むすべての者に目を注がれる。  
詩篇 33:13~14

ある朝、私は淹れたてのコーヒーを手に庭のベンチに座って、太陽が昇るのを見していました。昨夜遅くに恵みの雨が降ったため、空気は澄み、少し肌寒いくらいでした。明るくなってくると、目だけではなく心目も喜びで満たされる素晴らしい時を過ごしました。

数ヶ月前、夫が庭にある木の一つに巣箱を設置しました。残念ながら、その巣箱は使われないうちにならなくなっていました。でも、その朝、私は1羽、いや2羽の小さな雀が巣箱にいたのです！そしてその2匹が小枝や蔓や、巣作りに使えそうなものを集め始め、そして巣箱の中に巣を作り始めました。この素晴らしい光景を目にした私は歌い始めました。「一羽のすずめに目を注ぎ給う主はわれさえも支え給う」

このささやかだけれど、素晴らしい時は、一羽の雀すらお見捨てにならない主が、私たちをお見捨てになるはずがないと言っているルカの福音書の箇所を思い出しました。神は私たちを見ておられること、そして私の必要なものすべてをご存知であることを分かっています。そのことを知っている私たちは、失望するはずがありません。

聖歌 521

祈り 親愛なるお父様、私たちが終わりの時まで守って下さることが神の御計画であることを忘れないでいられますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャシー R. メレディス

7月17日(日)

## 神の賜物を求めて

聖書朗読 マタイの福音書 7:7~11

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

ヤコブ 1:17

今日の朗読箇所イエス様がお話になっている例え話の要点は容易にわかると思います。パンを求めている息子に、石を与える父親とはどんな父親なのでしょう。でも、高級バイクを望んだ息子に、父親は自転車を与えたとしたら？この息子のように、私たちは、本当に必要なのは小さな星屑なのに、月を求めてしまいがちです。私たちのお父様は完璧な父親であり、私たちにとって何がベストなのかを知っておられます。

求めなさい、探しなさい、叩きなさい、と聖書で言っているように、神は私たちが熱心に、そしていつも祈ることを望んでおられます。しかし、その祈りが自分の願うことが何でも叶えられる扉である鍵と思っははいけません。

ヤコブは次の短い言葉の中でこの身勝手な考えについて話しています。「求めても与えられないのは、快樂のために使おうとして、悪い求め方をするからだ。」(ヤコブ4:30) 私たちの祈りが応えられないときがあるのはこういう理由からです。祈りに対する主の応えがノーだった時、ヤコブは、私たちの祈りが神の栄光を表わすためなのか、もしくは自分自身のためだったのか、よく考えるように言っています。

讚美歌 7

祈り 親愛なるお父様。祈りに対する素晴らしい応えに感謝いたします。わがままになるのではなく、人のために祈り、そして実際に助けの手を差し伸べることが出来ますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

トラビス・アレン